

16 マルチレベル工法

水路

NETIS登録番号:TH-020011-V(旧番号)

クレーン等の重機械を使用せずに、自由自在に正確に据付けができる「マルチレベル工法」は、安全で正確、大幅なコスト削減を実現した、21世紀のプレキャスト製品据付け工法です。

マルチレベル工法の特長

1 安全性の飛躍的向上

クレーン等の大型重機類を使用せず据付けができるので、安全性の飛躍的向上が得られます。また、CO₂の排出を大幅に削減することができます。

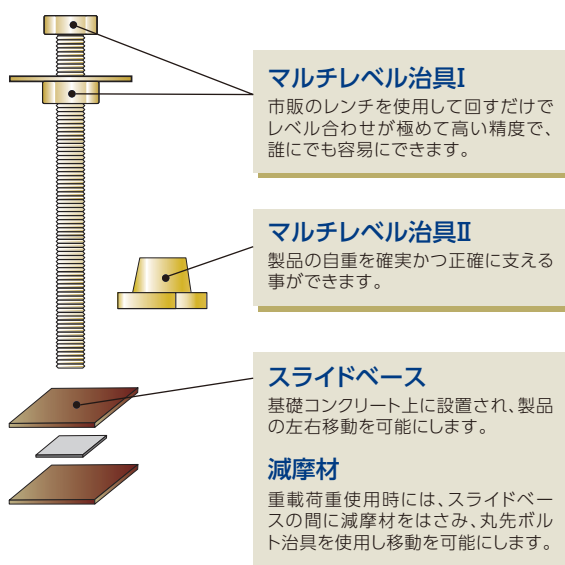
2 正確性&精度の大幅向上

マルチレベル治具は、プレキャスト製品のレベル合わせを正確にできる形状になっていますので、正確性及び精度の大幅な向上が得られます。

3 施工効率の向上&工期の大幅な短縮の実現

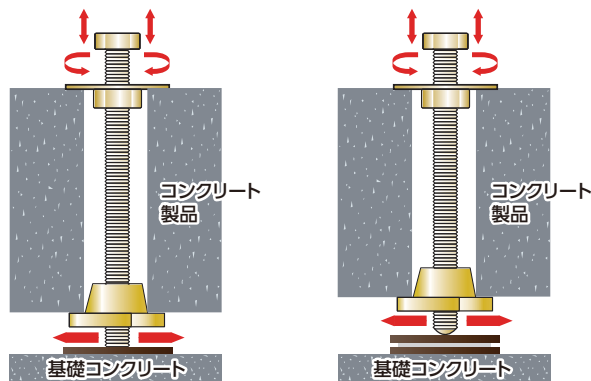
熟練度に左右されず、治具を用いて簡単にすばやくできます。

マルチレベル治具標準図



標準載荷重使用治具(平先)例

重載荷重使用治具(丸先)例



適用範囲

ボックスカルバート・各種可とうボックスカルバート・L型擁壁・大型フリーウム・L型水路ブロック・各種プレキャスト床版・その他プレキャスト製品

※その他特殊な製品についてはお問い合わせください。
※技術の向上に伴い、形状・仕様等を変更する場合があります。

マルチレベル工法による据付け施工例



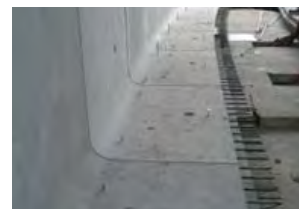
ボックスカルバート



大型フリーウム



L型擁壁

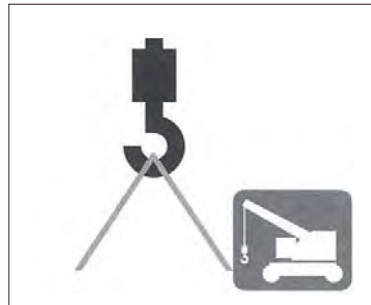


L型水路ブロック

施工手順

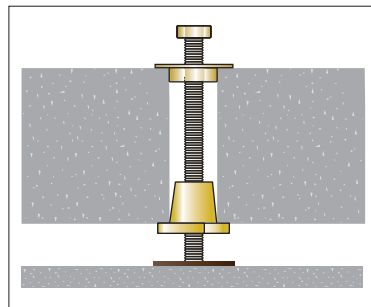
1 スライドベース上に設置

クレーン等の重機を使うのは、車上よりプレキャスト製品を基礎コンクリートにあらかじめ設置されたスライドベース上に降ろす時だけです。後は**重機械**等を使うことなく施工できます。



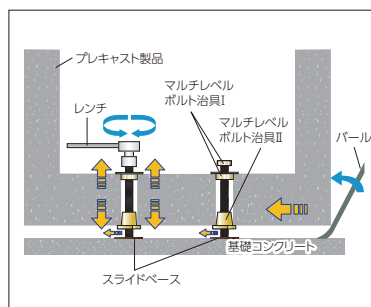
2 マルチレベル治具取付

プレキャスト製品は、**マルチレベル治具**の形状と製品自重によりスライドベース上に**しっかりと固定**されます。マルチレベル治具は工場出荷時や現場にて取り付けることも自由自在です。



3 安全性・正確性・施工効率の大幅な向上

プレキャスト製品の**レベル合わせ**は、**市販のレンチ及びバール**等を使用しますので熟練度に左右されず安全で正確に、しかも迅速にできます。従来の工法に比べて格段の施工効率アップが得られます。



4 設計強度確保・大幅なコスト削減

基礎コンクリートとプレキャスト製品との**空間にモルタルを充填**することにより、本来の設計強度が得られます。最後にマルチレベルボルト治具Iを取り外し、モルタルを充填します。

